

岩手県立宮古水産高等学校（海洋生産科）
県外からの志願者受入れ要項

1 目的

地域人材の育成等について高校の持つ役割の重要性や地域からの期待が高まるなか、地域産業の将来を担う人材、地域に愛着を持つ人材となりうる生徒を広く受け入れることで、学校及び地域の活性化と魅力の向上を図る。

2 宮古水産高等学校（海洋生産科）について

(1) 育成を目指す生徒像

海技士（航海）養成施設として船舶の運航技術を学ぶコース及び増養殖・食品加工に関する基礎的・基本的な知識と技術を学ぶコースにおいて水産業の意義と役割を理解し、主体的に学習に取り組み、地域の復興と発展に寄与する生徒

(2) 地域との連携体制

ア 連携先：宮古市、宮古市教育委員会、宮古漁業協同組合等

イ 具体的な取組

(ア) 宮古漁業協同組合等との連携により、宮古湾内に設置されている定置網や食品加工現場実習、漁業・水産技術講習会、漁業や造船所等の水産施設見学等を通じて地域を理解する。

(イ) 宮古水産振興センターと共同で実施する「明日の浜人発掘事業」により、いわて水産アカデミーや岩手大学農学部水産システム学科の協力で高度な知識・技術を習得する。

(ウ) 宮古市の新たな特産品として期待される「宮古トラウトサーモン」をとおして、高校と地域産業が連携した学校の魅力化や地域創生への取組を体験する。

3 入学後の居住環境等について

(1) 住居の状況

下記問合せ先から宮古市内の下宿を紹介する。

(2) 食事の提供予定

おおむね月～土曜日の朝夕2食

(3) 通学方法（通学にかかる時間）

自転車で約10分

(4) 費用について（学校の諸経費や通学に係る費用は除く）

約4万円（食費、光熱費込み）

（宮古市からの補助1万5千円差引後の額）

(5) サポート体制

急病時などは、下宿、学校が連携して対応する。

4 募集定員

4名

5 志願及び受検にあたっての留意事項

(1) 出願にあたっては、必ず志願者本人及び保護者が事前に学校を見学し、入学後の学習環境や居住環境についての説明を受けること。

(2) 出願の手続は「岩手県立高等学校入学者選抜実施要項」によること。

(3) 岩手県及び他県の公立高等学校を併願できないこと。

(4) 一般入学者選抜への出願となること。

6 問合せ先（令和4年度入学者選抜について）

岩手県立宮古水産高等学校 担当者（副校長）：市丸 成彦

（電話：0193-62-1430 F A X：0193-64-5568）